**【代表質問】**

| 順位 | ２ | 会派名 | きずな | 質問者 | 林　　高正 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 質問の小項目及び要旨 | 答弁を求める者 |
| １．新年度予算編成について | 今回の会派代表質問は、昨年11月４日に行った、平成27年度予算編成に対する会派「きずな」の要望が、新年度予算にどのように反映されているかという点について、また、取り組みの状況と現時点での所見について、以下の４点を伺う。（１）森林再生プランについて本市の最大の宝である森林の再生こそが命題である。これまで、「山は儲からない」と言われてきたが、「山は儲かる」を実践されている森林組合や自伐林家が各地に誕生している現状を真摯に受け止める必要がある。どうすれば「山は儲かる」にできるのか。国、県、市、森林組合、自伐林家、関係団体等と早急に協議機関を立ち上げ、森林再生に取り組むべきである。　そのためには、モデル地域を設定し、再生プランを実践することが重要と考える。地域特性により、自伐林家養成プラン、山の中のチップ発電プラン、家畜の糞尿等によるバイオガス発電プラン、伐採・搬出の効率化プラン等、地域に雇用が創出でき、経済循環が起きる多様な形態も想定されるが、所見を伺う。 | 市　長教育長 |

**【代表質問】**

| 順位 | ２ | 会派名 | きずな | 質問者 | 林　　高正 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 質問の小項目及び要旨 | 答弁を求める者 |
| １．新年度予算編成について | （２）上下水道の整備について　若者定住に重要な役割を果たす、上下水道の整備は重要な課題である。トイレの水洗化等、若者定住のための住宅改修には多額の費用がかかることから、より多くのＵ・Ｉターン希望者が活用できるよう、現行の下水道供用開始のための改造資金融資あっせん及び利子補給制度の拡充を提案したが、その取り組み状況について伺う。 | 市　長教育長 |
| （３）地域包括ケアシステムについて　地域包括ケアシステムは、医療と福祉のみの連携ではなく、地域全体を巻き込んだ、「地域おこし」そのものだと考えられている。　各自治体が競って地域包括ケアシステムに取り組みを始めているが、金太郎飴であっては意味がない。本市の地域性を考えながら庁内各課が連携して、各自治振興区や各種団体等とも協議を重ね、「庄原方式」と胸を張っていえる仕組みをつくり出すことを強く要望したが、その取り組みについて伺う。 |
| （４）ＩＣＴ利活用について　いよいよ本市全域に光ケーブルを敷設することとなり、防災、地域情報の告知にとどまらず、医療現場や教育現場はもちろん、福祉・観光・定住・シティプロモーション、ＩＴ企 |

**【代表質問】**

| 順位 | ２ | 会派名 | きずな | 質問者 | 林　　高正 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 質問の小項目及び要旨 | 答弁を求める者 |
| １．新年度予算編成について | 業のサテライトオフィス誘致など、さまざまな分野での超高速情報通信網の利用が期待される。整備して終わりではなく、生きた整備にするべく検討・実施が必要である。特に、小学校へのタブレットの早期導入を強く推し進めること、市内全域のWi-Fi化を強く推し進めることを提言したが、その取り組みの状況について伺う。 | 市　長教育長 |